

調査を実施した監査士名簿

(平成29年2月21日)

所 属	監査士氏名
J A 京都代表監事	王子 清造
J A 京都中央会代表監事	大槻 松平
J A 京都中央会	藤本 伸幸
〃	黒川 眞也
〃	山下 義昭
〃	野間 由幸
〃	村上 友一
〃	中村 秀志
〃	中川 滋
〃	佐々木光希
〃	森川 大輔
〃	植野 智仁

※その他事務スタッフ34名

SBS輸入米における中国産輸入量実績(農林水産省ホームページ「輸入米に係るSBSの結果概要」より作成)

(単位:トン)

年度	和暦	回	入札日	精米短粒種	精米中粒種	玄米短粒種	玄米中粒種	合計
2012	24	第1回	H24.9.25	12,016			40	12,056
2012	24	第2回	H24.11.6	2,800				2,800
2012	24	第3回	H24.12.18	11,824				11,824
2012	24	第4回	H25.2.20	960				960
24年度合計				27,600	0	0	40	27,640
2013	25	第1回	H25.9.25				94	94
2013	25	第2回	H25.10.22				40	40
2013	25	第4回	H26.1.15				40	40
25年度合計				0	0	0	174	174
2014	26	第4回	H26.12.18				40	40
2014	26	第5回	H27.1.14				40	40
26年度合計				0	0	0	80	80
2015	27	第3回	H27.11.18				40	40
2015	27	第6回	H28.1.29		36			36
27年度合計				0	36	0	40	76
2016	28	第1回	H28.9.7				36	36
2016	28	第2回	H28.12.16	500		100		600
2016	28	第3回	H29.1.11	240		600		840
2016	28	第4回	H29.1.25	240		100		340
2016	28	第5回	H29.2.8	100				100
28年度合計				1,080	0	800	36	1,916

安定同位体比分析による農産物の産地判別について

東京電機大学出版局発刊の『食品表示を裏づける分析技術—科学の目で偽装を見破る—』によると、豪州産、米国産、中国産、台湾産および日本産の5つの米のC・O同位体比を分析すれば、豪州産および米国産は日本産と明らかに違う一方、中国産、台湾産は日本産に大変よく似ている、と記述されている。

したがって、安定同位体比分析のみで日本産と中国産の米の産地を判別することは非常に難しいといわれております。

概 略

生物の体を構成する基本元素には炭素(C)、窒素(N)、水素(H)および酸素(O)があります。これらの元素には、各々質量数が異なる同位体 ($^{13}\text{C}/^{12}\text{C}$ 、 $^{15}\text{N}/^{14}\text{N}$ 、 $^2\text{H}/^1\text{H}$ 、 $^{18}\text{O}/^{16}\text{O}$) が存在しています。

これらの同位体は自然界では各元素で一定の割合で存在し、その比は安定同位体比と呼ばれています。しかし、生物の体の中の安定同位体比は、その生物が育った環境や摂取した食物の安定同位体比を反映して僅かに変化し、同一生物でも生育環境を反映した値を示します。

そこで、食品については、安定同位体比を、その生物が生息した環境を判別するための指標として用い、産地情報判別や原材料判別などに応用しています。